

株式会社イーウェーブ 決算説明会

2004年11月24日

大阪証券取引所 ヘラクレス : 3732

目次

- 会社概要
 - 会社沿革
 - 経営理念
 - 経営環境
-
- 2004年9月期中間業績について

 - 2005年3月期の状況

 - 事例紹介

会社概要

- 名 称 株式会社イーウェーブ (E-WAVE CO.,LTD.)
- 本社所在地 大阪市中央区安土町 1 - 8 - 1 5
- 事業所 東京 / 松本 / 名古屋 / 福岡 / 仙台
- 設 立 1 9 8 8 年 8 月 1 日
- 資本金 4 億 5 7 百万円 (2 0 0 4 年 9 月 末 現 在)
- 役 員 代表取締役社長 滝澤正盛
- 社員数 3 2 2 名 (2 0 0 4 年 9 月 末 現 在)
- 売上高 3 9 億 3 3 百万円 (2 0 0 4 年 3 月 期)
- 関連企業 株式会社スター・ツアーズ・ジャパン
(平成16年11月9日設立)

会社沿革

- 1988年 8月 大阪市北区において(株)フライトとして設立（資本金1000万円）
- 1989年 6月 東京事業所開設
- 10月 松本事業所開設
- 2000年 3月 通商産業省（現経済産業省）の「システムインテグレーション企業台帳」登録
- 2000年 4月 (株)TISソフトウェアエンジニアリング（TIS子会社）と合併
社名を株式会社イーウェーブ（現社名）に改称
本社を大阪府中央区に移転
- 7月 名古屋事業所開設
- 2001年 4月 福岡事業所開設
- 8月 (株)TIS東北ソフトウェアエンジニアリング（TIS子会社）株式譲り受け、当社
子会社化
- 10月 (株)TIS東北ソフトウェアエンジニアリング（当社子会社）を吸収合併し、当社
仙台事業所に改称
- 2004年 2月 大阪証券取引所「ヘラクレス」市場に上場
- 2004年11月 関連会社(株)スター・ツアーズ・ジャパン設立

経営理念

■企業理念

人こそ全てを生み出す源である
志を持ち自己を高めることが、企業発展の力
私達は、広く社会に認められ、存在感のある企業を目指す

■行動規範

Challenge: 挑戦

人と人を情報で結びつける
e-wave
私たちは明日を創造します。

Flexibility: 柔軟

Growth: 成長

経営環境

- ERP(R/3)導入コンサルチーム設置
- 他社に先駆けたオブジェクト技術へのシフト(200名のオブジェクトシステム技術者)
- 成長分野であるインターネットVPN&VoIPへの参入
- 基幹システム構築ノウハウ
- モバイル端末組込ソフトウェア構築のノウハウ

強み

内部環境

- ブランドの構築
- セキュリティ管理体制の充実

課題

- オブジェクト技術(Java等)、Webシステムの普及
- 通信サービスメニューの多様化と顧客の積極的なコスト削減意欲
- ERP導入ニーズと開発期間短縮化ニーズの高まり

好環境

外部環境

- 中国等アジアパワーの進出
- 他産業からの新規参入
- 受注基準の高度化

意識対象

2004年9月中間期業績について

決算概要(前年同期比)

単位百万円

	03年度 中間期	百分比 (%)	04年度 中間期	百分比 (%)	前年同期比 (増減%)
売上高	1,719	100.0%	1,932	100.0%	12.4%
売上総利益	259	15.1%	330	17.1%	27.4%
販売管理費	190	11.0%	222	11.5%	16.8%
営業損益	69	4.1%	107	5.6%	54.3%
営業外損益	-1	-0.1%	-14	-0.7%	-
経常損益	67	4.0%	92	4.8%	36.8%
特別損益	-6	-0.3%	-	0.0%	-
中間純損益	33	2.0%	53	2.8%	60.6%

- ▶ 5つのソリューションの推進で、全ての数値が前期比で上回った
- ▶ 売上原価の比率低下により、売上総利益の伸びが大きくなった
- ▶ 公募増資費用1千万円弱の影響で、経常利益の伸びが抑えられた

決算概要(計画比)

単位百万円

	04年度 中間期計画	百分比 (%)	04年度 中間期実績	百分比 (%)	計画比 (増減%)
売上高	2,000	100.0%	1,932	100.0%	-3.4%
営業損益	89	4.5%	107	5.6%	20.2%
経常損益	87	4.4%	92	4.8%	5.7%
中間純損益	48	2.4%	53	2.8%	10.4%

- ▶ レンタル用システムの資産計上等の結果、売上高が計画比で下回った
- ▶ 収益率の高い5つのソリューションの中でも特にWebが伸びた結果、営業利益が計画を大幅に上回った
- ▶ 公募増資費用の影響で、経常利益の伸びが営業利益を下回った

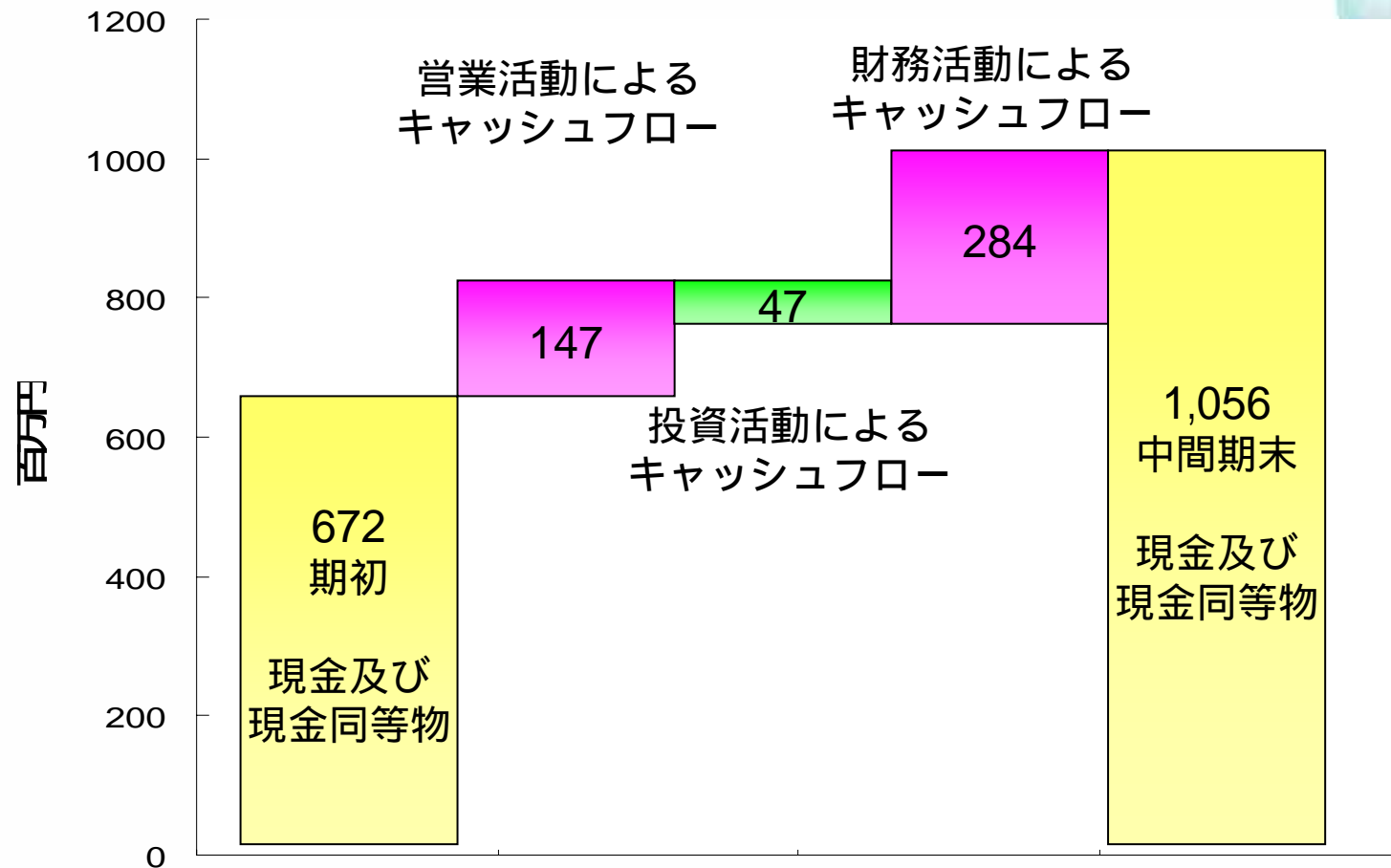
貸借対照表

単位百万円

	03年中間	03年度	04年中間	前年同期比	前期末比
【 資 産 合 計 】	1,789	2,145	2,421	632	276
流 動 資 産	1,539	1,886	2,105	566	219
現金・預金	450	688	1,074	624	386
受取手形・売掛金	679	841	664	▲ 15	▲ 177
その他	409	357	365	▲ 44	8
固 定 資 産	250	258	316	66	58
【 負 債 合 計 】	1,347	1,390	1,178	▲ 169	▲ 212
流 動 負 債	1,197	1,264	1,052	▲ 145	▲ 212
支払手形・買掛金	299	379	295	▲ 4	▲ 84
短期借入金	551	551	451	▲ 100	▲ 100
その他	346	333	306	▲ 40	▲ 27
固 定 負 債	150	126	125	▲ 25	▲ 1
長期借入金	51	18	8	▲ 43	▲ 10
その他	98	108	117	19	9
【 資 本 合 計 】	441	754	1,243	802	489
資 本 金	122	215	457	335	242

▶ 公募増資により、04年中間期では現・預金が増加し、短期借入金やその他負債が減少した

キャッシュフロー計算書



通期業績予想

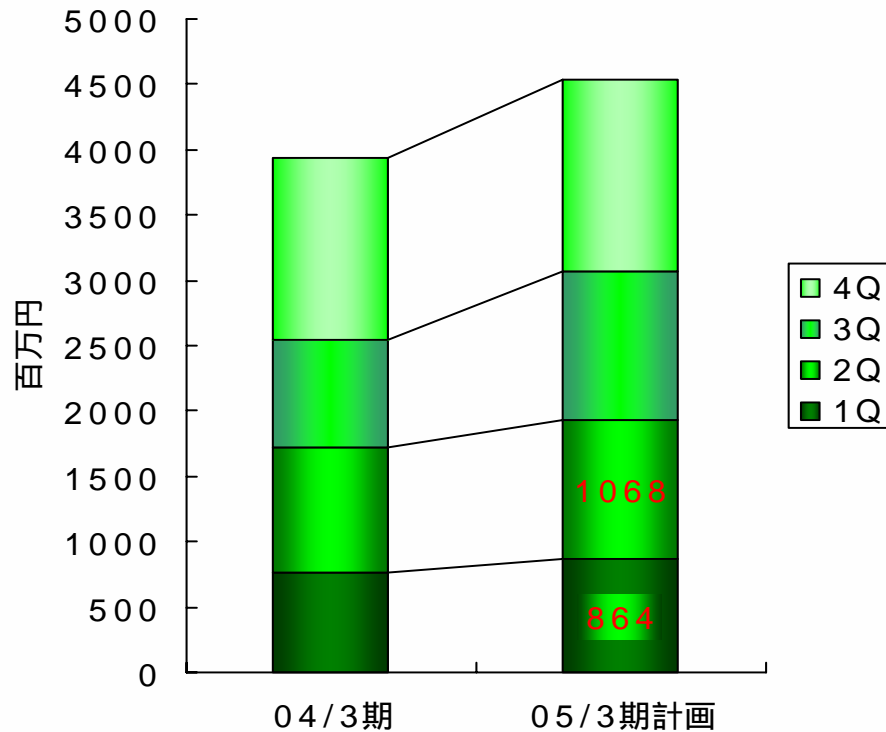
単位百万円

	03年度 実績	百分比 (%)	04年度 当初計画	百分比 (%)	前期比 (増減%)
売上高	3,933	100.0%	4,600	100.0%	17.0%
営業損益	253	6.4%	299	6.5%	18.2%
経常損益	214	5.4%	274	6.0%	28.0%
当期純損益	115	2.9%	150	3.3%	30.4%

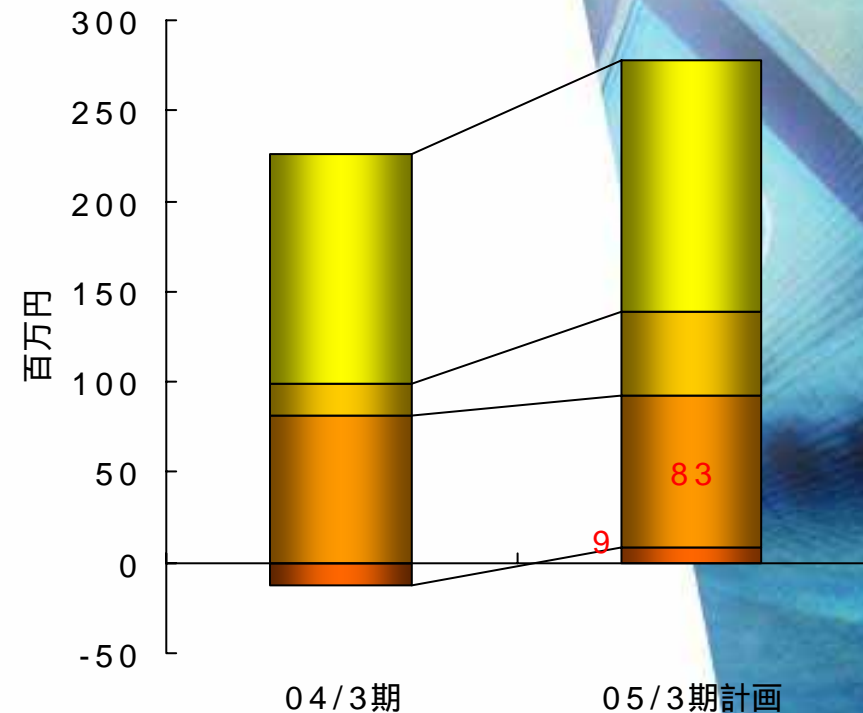
- ▶ 期初の計画は変更なし
- ▶ 粗利率の高いソリューションへのシフトが進み、純利益では前期比30%増を計画

四半期毎の売上高と経常利益

売上高



経常利益



- ▶ 売上の計上基準は検収基準を採用
- ▶ 売上の取引先決算期末への集中により、第2・第4四半期に売上が集中する傾向あり

一株当たりの指標の推移

決算期		第13期	第14期	第15期	第16期	第17期中間
決算年月		平成13年3月	平成14年3月	平成15年3月	平成16年3月	平成16年9月
一株当たり純資産額(遡及修正後)	円	28,286.61	29,614.08	38,171.19	39,029.54	56,714.14
一株当たり当期利益(遡及修正後)	円	5,923.70	3,861.86	8,557.30	7,967.91	2,763.87
一株当たり配当額(遡及修正後)	円	旧株 1,666.66 新株 45.66	833.33	旧株1250.00 新株 664.50	2,000.00	-
自己資本比率	%	19.7	20.4	27.5	35.2	51.3
配当性向	%	28.1	21.6	12.9	25.1	-

▶2004年5月の株式分割(1:3)を反映させて遡及修正済

▶公募増資により、一株当たり純資産額、自己資本比率が改善

2005年3月期の状況

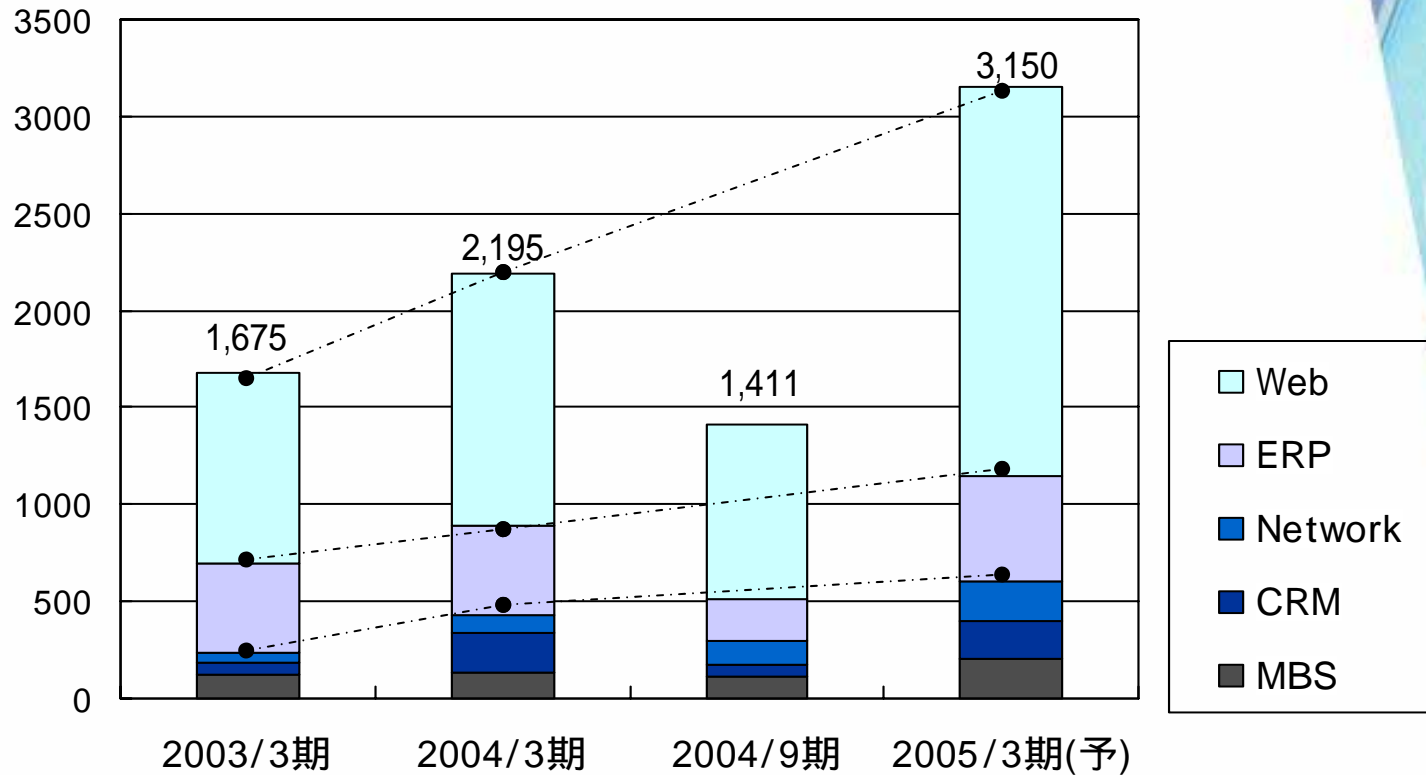
事業戦略

- **5ソリューションの拡大**
収益性の高いソリューションへの経営資源の集中
- **新たな収益モデルの始動**
 - ・ 高付加価値システムのレンタル
 - ・ 成果報酬型契約
 - ・ コンシューマービジネスへの進出

ソリューション別の状況

5ソリューション売上高推移

(単位:百万円)



グラフ上の数値は、5ソリューションの売上合計

新たな収益モデルの始動

- **高付加価値システムのレンタル**
 - ・ 自社開発の予約管理システム等をレンタル
- **成果報酬型契約**
 - ・ (株)スター・ツアーズ・ジャパンとの契約が第1号
- **コンシューマービジネスへの進出**
 - ・ 関連会社や他企業への投資により B to C ビジネスに着手

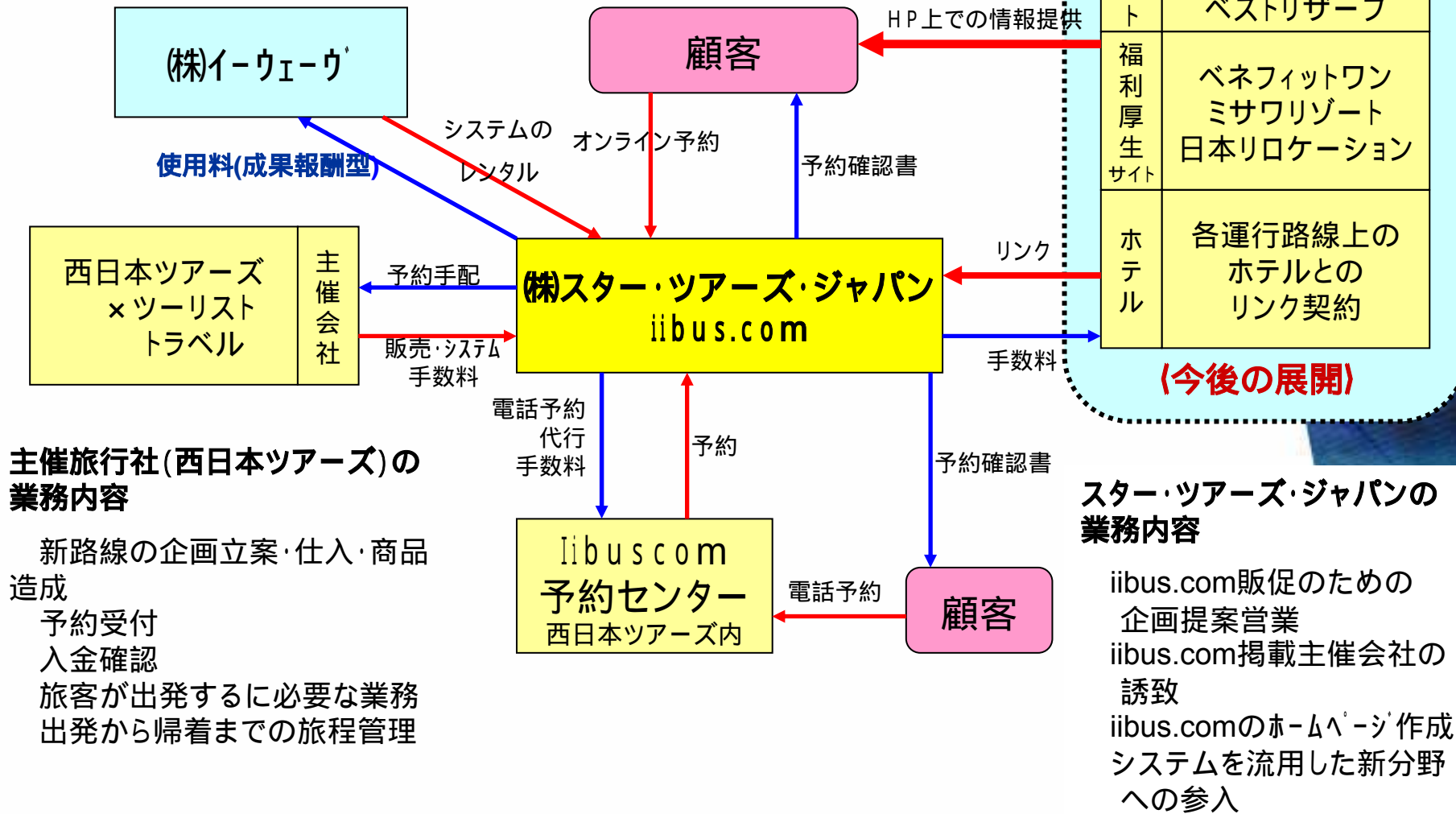
当面の経営課題と対応

- **売上(ビジネスボリューム)の拡大**
 - ・首都圏への拡大対応として、東京事業所を増員中
 - ・10月に公共システムソリューション部を創設、東京事業所を強化
- **収益性の向上**
 - ・E J B や開発ノウハウ再利用、一括案件獲得割合の拡大
 - ・5ソリューション等の利益率が高い事業へのさらなるシフト
 - ・社内情報システム再構築 間接コスト圧縮
- **ブランドの構築**
 - ・I R の充実
 - ・メジャープレイヤーとのアライアンス
- **情報セキュリティ管理体制の充実**
 - ・情報セキュリティ委員会の発足
 - ・I S M S の認証取得へ全社での取組強化

スター・ツアーズ・ジャパン設立について

- 商号 株式会社スター・ツアーズ・ジャパン
- 主な事業内容 インターネット、携帯電話による各種予約の企画・検索・受付サービス及びポータルサイト「iibus.com」の運営
- 設立年月日 平成16年11月9日
- 営業開始日 平成16年12月1日(予定)
- 本店所在地 大阪市北区梅田1-11-4
- 代表者 代表取締役社長 村瀬 茂高
(株式会社西日本ツアーズ代表取締役)
- 資本金 1,000万円
- 決算期 3月31日
- 出資比率 株式会社イーウェーブ 40%
村瀬 茂高 51%
その他 9%
- 人的関係 当社 滝澤正盛、松田守弘が取締役に就任

「iibus.com」について



事例紹介

情報共有化による業務改善 (Z社様)

製品開発支援システム導入による品質向上

製品の管理

- 企画段階から出荷まで詳細な工程別に進捗を管理
- 従来の製品管理から高機能化。付属品の進捗管理まで可能に



お客様の声

コールセンター

コールセンターシステム

既存システムとの連携

技術情報システム

新サーバ

進捗状況確認
ナレッジ情報参照

進捗報告

技術情報

企画・開発部門



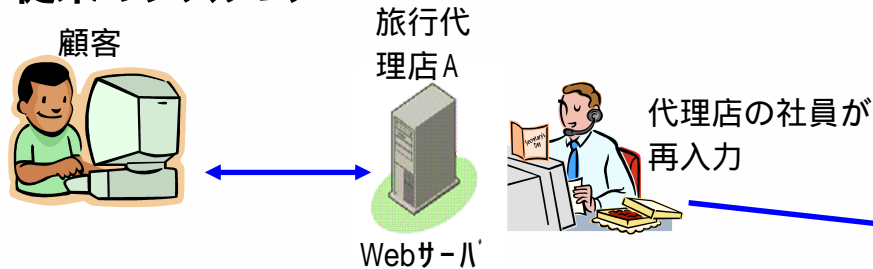
管理部門

日程管理システムの再構築を行い、従来よりさらに実態に沿ったスケジュール管理が可能となった。また、従来は個々の部門ごとに動いていたシステムを連携させる機能を追加させる事で知的財産の全社展開が可能となった。当システムの運用により顧客企業様より製品品質のさらなる向上が実現できたと評価頂いた。

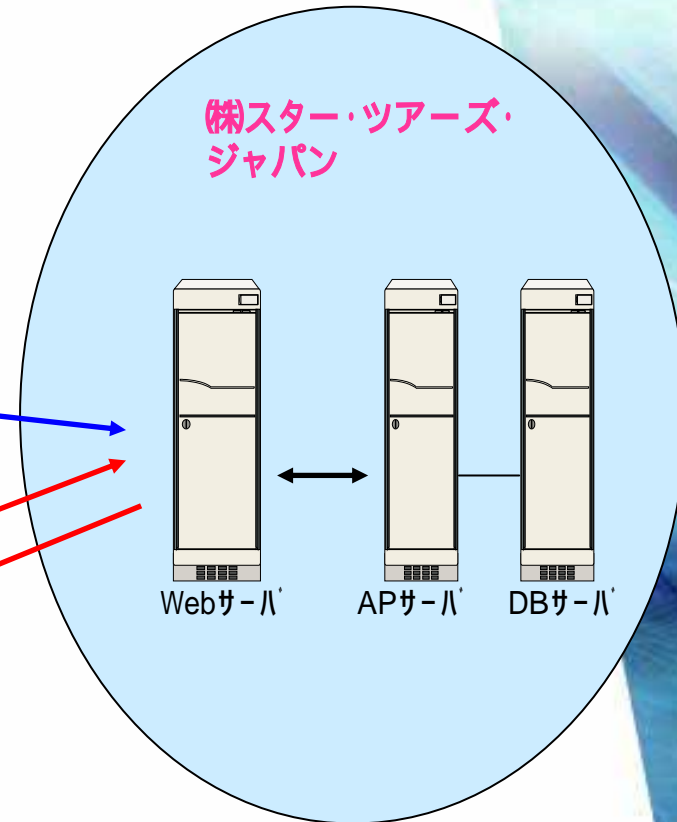
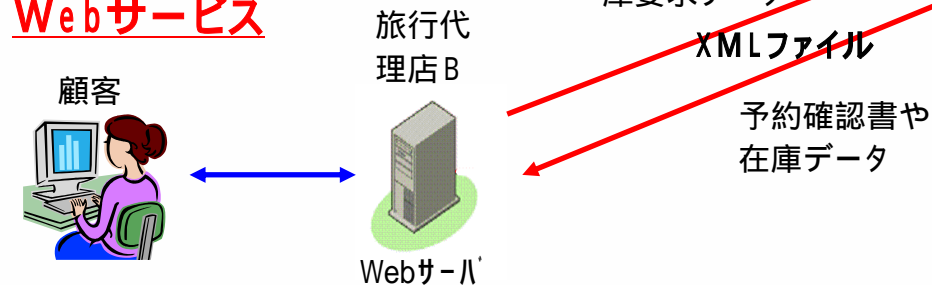
XML Webサービス

Webサーバに予約管理システムを導入

従来のシステム



Webサービス

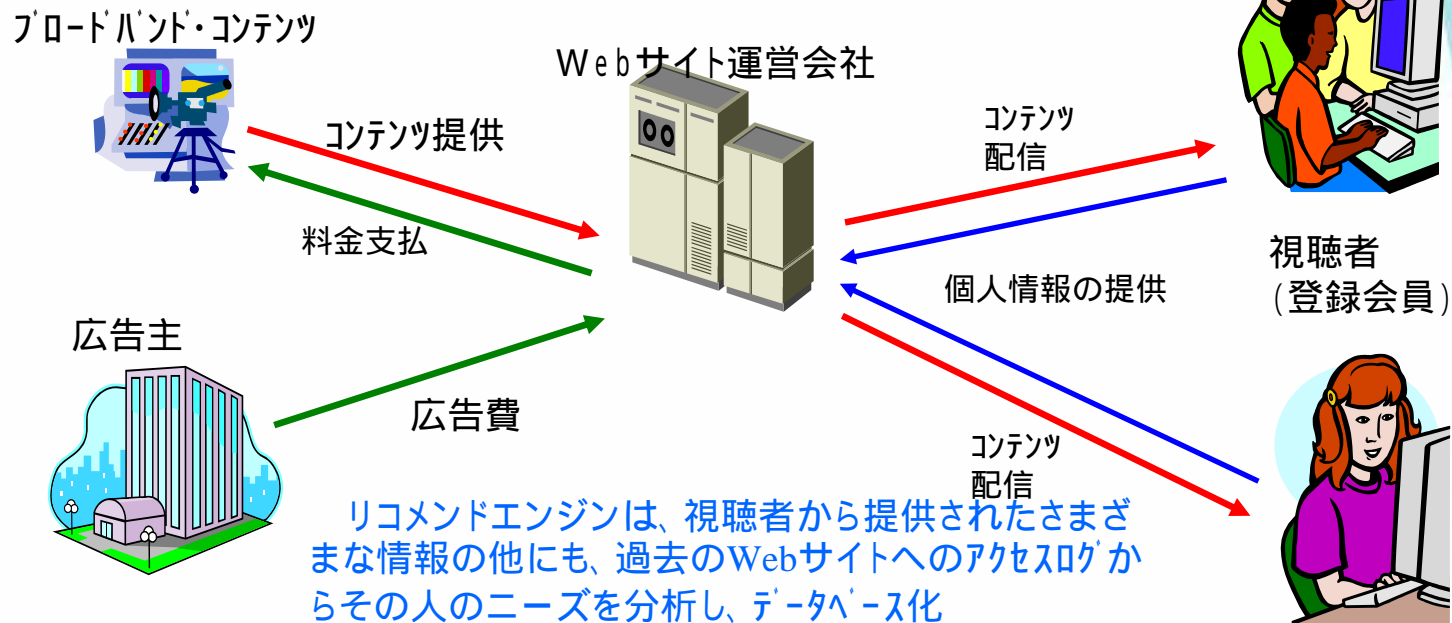


従来は顧客の入力した情報を代理店で再入力していたが、Webサービスは入力情報を自動的に利用し、一方それを元に確認書や在庫データも自動的に代理店に送る等の迅速なフィードバックが可能となった。
この結果、S社だけでなく代理店の業務が大幅に改善され、時間・コストともに削減することに成功した。

リコメンドエンジン

WEB上での顧客データ分析システム開発

顧客は広告費を元にブロードバンド・コンテンツの無料配信サービスを提供。
代わりに視聴者から、詳細な個人情報入手し、広告主の提供する商品の顧客となりうる視聴者にのみその広告を配信。
この技術の中核となるのが「リコメンドエンジン」である。



e-wave
CORPORATION

株式会社 イーウェーブ

URL : <http://www.ewave.co.jp/>

E-mail : ir@ewave.co.jp

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願い致します。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願い致します。